

令和7年度第3回学校運営協議会（議事録）HP用

日時:令和8年2月13日（金） 15:50～

場所:山梨県立上野原高等学校 小会議室(北館1階)

記録:(総務)

(1)第3回学校運営協議会

① 開会の言葉(司会 総務主任)

② 学校長あいさつ(校長)

・11月以降の生徒の様子をはじめ学校の状況について

○12月の総合学科発表会については、多くの生徒が学びの成果を自分の言葉で伝えようと最後まで工夫し、仲間の発表を真剣に聞き尊重する姿が印象に残った。

○年明けからは、3年がそれぞれ進路を決め準備を進め、数名の生徒の結果を待つのみ。

1,2年生は期末試験に備えており、次を意識しながら動いているのが感じられる。

・入試について

○前期入試は希望調査より3名増えて受験してくれた。

○これから後期募集の一括受付が始まるが、地元の生徒の希望が本校を希望してくれている。

・日々の教育活動の中で、生徒一人の想像力、感受性を大切にしながら、目の前の生徒に丁寧に向き合う教育を続けていきたい。それが、本校で学びたいと思ってもらえる学校づくりにつながると感じている。地域の皆様のご協力、ご助言をお願いしたい。

③ 議事(議長:会長)

ア:いじめアンケートについて(生徒指導主事)

口頭にて説明 6/16, 10/20, 2/4の3回アンケートを実施。

6月は部活動内での悪口相談。10月はSNS上でのすれ違いによるトラブル(解決済み)。

2月は回答ゼロ。

(質問・意見)

【A委員】 自分が見聞きしたいじめについても答えるアンケートになっているのか

→(生徒指導主事)「自分や友達が見聞きしたものについても、いじめではないかと思うものについても全部含まれるアンケートになっている。そのような報告も今年はなかった」

→第2回学校運営協議会の際に「いじめアンケート」項目を提示済(資料の確認を)

【B委員】 インスタでの返信のあるなしなど、成長過程ではよくあることだと思うが、

学校側としてネットリテラシー教育はどのように行っているのか」

→(生徒指導主事)「5月にネットリテラシーについて、スマホに使い方についての注意をしている。自分が担当してから、生徒指導の問題の半分以上にSNSが関係している。

年度初めに、最初は外部機関の方に話をしてもらっていたが、本校の実情にズレを感じていたので、私の方から話すようにしている。生徒は、時間がたつと忘れてしまうため、個々に指導の際に話をしたり、いじめアンケートの表紙の裏に道徳教材を載せるなどして、取り組んでいる。」

→ (教頭) 「1年生に対しては夏休み前に、弁護士出前授業において法的な立場から情報モラルや加害者被害者の立場からのアドバイスももらっている。2年生については12月冬休み前に実施している。」

イ：学校評価について (研究・研修主任)

学校評価は、教員と生徒の声を拾って、本校の現状把握と足りないところを次年度への改善策につなげたいのが実施している理由。

年間の実施計画のとおり、6月12月に年2回実施し、比較して課題を見つける流れ。

4つの評価項目ごとにアンケートに落とし込んだものが別紙資料で、生徒、教員にアンケートを行い集計したものの分析が、資料の〔分析1〕～〔分析9〕

各分掌、年次からの課題、改善策もまとめてある。

(質問・意見)

【議長】 評価点というものはどのようなものか

→ (研究・研修主任) 4段階評価なので、4に+1、3に+0.5、2に-0.5、1に-1を掛けて、山が真ん中にくるときに評価点が0になる仕組み。点数が高いほど肯定的な評価が高くなる。

【議長】 部活動について。人数が少ないと、部活動が成り立たない。そのような状況の中で子供たちは自分の好きな部活動をしているが、非常に難しい点である。これを社会教育にすべて預けてしまうのか、高校の先生は、これまでの高校での部活動生活の重要性を認識し、苦しまれているとおもうが、委員の先生方のご意見いただけるでしょうか

【B委員】 少人数でできるものに特化するのも一つの作戦ではないか。具体的には、PCによる映像処理、動画編集など。

【C委員】 11月の授業参観では、少人数に分けられた生徒の授業を見せていただいたが、本当の意見を知りたいのは、生徒の実際の声。学習内容を理解できているのか、授業を理解できているのか、選択科目が自分に合っているのかなど、私は手厚く学習しているように思っているが、子供たちはどのように感じているのか載せた方が良いのでは。

・このような少人数で学習できる環境を売り込んだ方がいい。少人数制のために部活動が制限されしまうことはあるが、もっと人数を増やすためには上高の良さをアピールしないと都留や甲府の方や補助金も出る私立の明誠に流れてしまう。

・生徒たちの勉強はどのようにしているのか、上中から行った生徒たちは楽しく勉強している。そのような上高の魅力を打ち出して、アンケートの中にもう少しそこが見えるといい

【議長】 朝読書は非常に良い取り組みだと思う。

静かに落ち着いて活字を読むことを続けていることに感心している。続けてもらいたい。

【D委員】 分析4で長年にわたる本校の課題と書かれていたが、この対策に対して、やる気をおこさせるような、目的がないとやる気が出ない、勉強もはかどらないと思うので意識を高めるような外部の講師による講演、セミナーとか実績はあるのか

→ (研究・研修主任) 自分の授業(生物)だと、興味を持ってそうなつかみの部分を出すようにしている。外部の講師については、DXで東経大の先生のデータの重要性を学ぶセミナーが行われる。後で出てくるTGG研修では、ネイティブの人との交流。修学旅行では、歴史教育、平和教育を総合的な学習と絡めながら事前学習をしている。

【議長】 先輩たちをうまく活用してはどうか? 大学に進学したり、仕事についている卒業生、社会で活躍している方を活用してはどうか

【A 委員】 このアンケートは上高独自のものか、あるいは、県立高校はやることになっているか

→ (研究・研修主任) 県立高校ではやることになってはいるが、形については各学校に任せられている

【A 委員】 大学についても文科省の指示でやることになっているので、大変さは理解できる。

勉強をしないのは普通なので、宿題以外とは違うもので、なにかのインセンティブをあたえるしかないのでは。大学では、授業時間以外の勉強については常に低い。

【研究・研修主任】 連絡事項になってしまうが、委員の先生方にも学校評価(学校関係者評価)について、お答え願いたい。4段階評価とご助言をお願いしたい。ワードにまとめた場合は研究・研修主任宛、メールに直接、あるいは、FAX でお願いたい。

ウ：近未来の上野原高校の在り方への提言(教頭)

資料の(案)に対して、ご意見をいただきたい。

① 生徒募集への対策

出身生徒を連れていくことを考えている。オープンキャンパス開催時期の検討。

② 部活動活性化への取り組み

学校の少人数化が課題になっている。合同練習で、中学生に広めていきたい。地域移行の実情をぜひ教えていただきたい。

【B 委員】 上野原市としては、教育委員会が上野原クラブを設置して土日の部活動の地域移行を進めている。今年度この秋から、新チームで野球部(上)とサッカー部(西中)について、地域展開がスタート。まだ、土日のみ。他校からの参加は課題となっている。指導者は、サッカーは資格を持った地域の方。野球は、学校の先生をクラブ活動指導員として市が任用。

今後は、運動部を中心に、土日祝日の地域移行を進めていく段階で、来年度以降は3校の上野原クラブへの参加が課題となっている。

【E 委員】 学園祭について、一般に公開しないのはなぜか?

→ (教頭) コロナ禍のときに公開自体を閉じて、現在は、毎年議論をする中で、家族のみに公開している。

【E 委員】 学校の中身を強く感じられるのは学園祭が大きいと思っていて、どんなものを作っているのかなど、オープンに上高を中を見てもらう機会を作るのが、これから行きたい学校にする近道なのではないか。

→ (生徒指導主事) 地域の方や小中学生に限定的にでも広げるのはいいかなとは思う。制限なくオープンにすると、過去、バイクや金髪の子が入ってきて、裏で煙草を吸うといったトラブルを起こすということがあったので、土日だと自由に出入できるので平日開催にしている経緯がある。生徒指導としても、多くの方に来ていただく手立てを考えることは検討したい。

→ (教頭) 来年度、学園祭の1日目を市のホールで行うが、初めて文化祭をホールで開催するので、担当教員の方でいろいろ模索中。2日目は体育館に戻って、模擬店や文化部の発表を考えている状況。

【B 委員】 文化祭はいろんな人が入ってくる懸念はあるが、明誠高校はフリーになっている。そういった学校もあるので、順次開いていくのは良いことではないか。

③ 特色づくり

・TGG 事業・学園祭発表会場・芸術鑑賞会・キャリア教育における「バイタリティ探究」や「インターンシップ」(資料参照)

エ：その他（教頭）

- ・防災訓練を八ツ沢地区の方と共同でできないかとF委員（地区代表）と検討している。
- ・「教養科学」の授業の中で、遠い地域から学校の近くの畑を1月から借りて実施可能。
- ・「福祉」の授業の中で、上野原福祉作業所、やまびこ支援学校との交流
- ・議会だよりで取り上げられた朝の直通バスの運行については、単独路線は難しいが、帝京科学大の直通バスを利用できないか検討中。
- ・危険物取扱といった資格取得や上野原市の人材育成を考えていく
- ・HPやインスタの利用を県と相談しながら検討していく

【B委員】 上野原市での人材確保は上野原市の政策との合致している。今後、上野原市と学校の方で一緒に共同で入れるようなことがあれば一緒にやっていけるかなと思っています。

④ 連絡事項

ア 次年度の運営評議会（教頭より）

- ① 令和8年5月19日（火） 15：50～
- ② 令和8年11月4日（水） 13：39～
- ③ 令和9年2月12日（金） 15：50～

イ：事務室より

- ・年度の会議がすべて終了したところで、報酬をお支払いします。
振り込みの口座を提出していただいているので、3月に支給させていただきます。

(2) その他（ご意見など）

- ・特になし

(3) 閉会の言葉（司会）